

杏林大学医学部付属病院長の選考及び決定に関する公示

令和 5 年 1 2 月 4 日

学校法人杏林学園

理事長 松 田 剛 明

杏林大学医学部付属病院長選考規程に則り次期病院長を決定したため下記のとおり公示する。

記

氏 名 : 近 藤 晴 彦

現 所 属 等 : 杏林大学医学部教授

現杏林大学医学部付属病院長

役 職 : 杏林大学医学部付属病院長

(任期: 令和 6 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日)

選考理由:

近藤晴彦氏は令和 4 年 4 月 1 日より杏林大学病院長としてその責務を着実かつ積極的に遂行し、多大な実績をあげてきた。病院運営の面では、IT による情報管理と利用の促進に取り組む一方、手術部長の経験から病院における手術機能の拡大と充実を図ることで病院経営を安定化させ多大な寄与をなしてきた。更に、特定機能病院として医療の維持・発展に、コロナ禍の病院長として多大な貢献をされた。

また医療安全の最高責任者として、医療安全を組織的に確保するためのシステムを構築、運用に係る実績を有している。以上、同氏は特定機能病院の管理及び運営についての十分な経験と資質、並びに安全管理能力を有するものと判断した。

同氏は所信表明において、本学の建学の精神に基づいて定められた杏林大学病院の理念の達成に向けた具体的な構想を明らかにしており、その戦略と実行力に鑑み、杏林大学病院の今後の発展に貢献し得る人材であると評価した。温厚な人柄であるとともに、課題に真摯に取り組み、かつ教職員からの人望も厚いことなども考慮し、同氏は時期杏林大学医学部付属病院長候補者として適任であると判断した。

選考過程:

候補者推薦の受付(令和 5 年 10 月 16 日から 10 月 30 日における候補者となる。)

(他に候補者としての推薦なし)

令和 5 年 11 月 1 日、病院長選考委員会委員長に候補者推薦の結果を報告。

令和 5 年 11 月 27 日、病院長選考委員会を開催。委員会委員 5 名全員出席し審議。選考評価により近藤晴彦氏を最終候補者として学長に上申することを決定。同日、委員会委員長から学長に上申。

理事長による任命:

令和 5 年 12 月 1 日開催の理事会において学長から近藤晴彦氏を次期病院長として推薦。承認により理事長は令和 6 年 4 月 1 日付で同氏を病院長として任命することが決定した。